



rTMS療法が保険認可を受けました

令和元年6月にrTMS（反復経頭蓋磁気刺激）療法がうつ病治療の保険認可を受けました。

当センターでは、10年以上にわたり臨床研究を取り組んできた経験を生かし、保険診療で受けられる体制を整えて参りました。

保険診療で適応となるのは、「既存の抗うつ薬による十分な薬物療法によっても、期待される治療効果が認められない中等症以上の成人（18歳以上）のうつ病」と定められています。適応に合致する方の治療希望がありましたら、当センターまでご連絡の上、患者さんからの質問票、主治医の先生からの紹介状を郵送下さい。

現在は入院治療で実施しておりますが、通院治療で行う体制を整備している最中です。rTMS療法に関する詳細は、当センターHP内に掲載しておりますのでご参照下さい。

治療抵抗性うつ病の治療選択肢が増えることで、病状改善に寄与することができれば幸いです。



令和元年度 大規模地震時医療活動訓練について



令和元年9月7日(土)、内閣府主催の令和元年度 大規模地震時医療活動訓練に40名が参加しました。同訓練は、首都直下地震(県内最大震度6強)により甚大な被害が発生したという想定で実施され、当センターは、被災した病院からの患者を一時的に受け入れる集積病院としての役割を果たしました。

訓練では、当センター内に災害対策本部を設置し、副院長の指揮のもと活動が行われました。神奈川県・茨城県・島根県のDPAT(災害派遣精神医療チーム)も参集し、また模擬患者役として看護学生にもご協力いただき、実際にトリアージを行うなど、本格的な実動訓練となりました。

今回の訓練は、今後、いつ起こるか分からない災害に備えて、とても有意義な機会となりました。

Contents

- rTMS療法が保険認可を受けました
- 令和元年度 大規模地震時医療活動訓練について
- 部署紹介リレー
 - ・精神科救急病棟(5A・5B病棟)
 - ・薬剤科
- 掲示板他

精神科救急病棟 (5A・5B病棟)

当センターは、神奈川県精神科救急システム病床33床の内、16床を担っています。救急システムで入院される患者さんは、精神運動興奮や自傷・他害の恐れがあるなどの急性期症状を呈する患者さんがほとんどです。まず、5A病棟が受け入れ、5B病棟と連携して継続した治療を行っています。そして急性期症状からの回復後、患者さんの居住近く、または、かかりつけの病院へ転院のご協力をお願いしています。



5A・5B間ベッドコントロール会議

救急病棟は、5A・5B病棟の2病棟で構成しています。5A病棟は、30床（隔離室13床・個室17床）5B病棟は40床（隔離室12床・個室8床・大部屋20人床）の男女混合、閉鎖病棟です。精神科救急システム、当センター通院患者の他に、地域関係機関などから依頼された患者さんをお受けしています。入院件数は2017年度517人、2018年度614人と年々増え、今年度は、さらに増加傾向にあります。

急性期治療をすすめていく段階から、患者さんが一日でも早く地域での生活に戻ることができるよう、医療チーム、地域との連携に力を入れています。

入院する患者さんの中には、精神科での入院治療が初めての方や精神科病院に何かしらの嫌悪感を抱いている患者さんも少なくありません。そのような患者さんに安心して治療を受けていただけるよう「患者さんの心に寄り添う」ことを目標に、丁寧な関わりを心がけております。



5A病棟



5B病棟

薬 剤 科

薬剤科は薬剤師7名（常勤6名、非常勤1名）で業務を行っています。

《調剤》

外来は原則院外処方（発行率95%）で、調剤の主体は入院処方となっています。クロザピン（治療抵抗性統合失調症の治療薬）については、外来も全て院内で調剤しています。錠剤・カプセルは基本一包化しています。F-WAVE（計数調剤支援システム）を使用するなどして調剤過誤の防止に努めています。



《服薬指導》

服薬指導は医師の依頼のもと行っています。クロザピンを使用している患者さんについては原則全て行うようにしています。効能・効果、用法・用量、副作用だけでなく、服用意義の説明やお薬の管理方法の提案を行ったりするなど、アドヒアランスの向上にも努めています。

《各種プログラムの薬の講義》

デイケアのリワークプログラム、依存症病棟の教育プログラム等各種プログラムにおいて集団での薬の講義を行っています。プログラムによっては、事前に参加予定者から質問をお預かりして、講義の時に回答するなどの工夫も行っています。

《教育》

神奈川県立病院機構では、5つの県立病院を2年間で回るジェネラリスト養成を目的とした薬剤師レジデント制度を導入しています。現在当センターで2名のレジデントが研修中で、若手薬剤師の教育にも力を入れています。

私たちは、患者さんやご家族の方の声に耳を傾け、患者さん一人ひとりに適した薬物療法を安心かつ安全に行えるよう努めていきます。また、多職種と情報を共有し連携しながら、チーム医療の一員として患者さんを支援していきます。



調剤業務



服薬指導

掲 示 板

MRI及びCTの単純撮影について医療機関からの依頼検査の受付を開始しました。

【機器】

- ・磁気共鳴断層撮影装置(MRI、3テスラ)
※脳をはじめ、全身(乳房、心臓を除く)の単純MRI検査をお受けします。
- ・X線CT装置(80列)
※脳をはじめ、全身の単純CT検査をお受けします。
いずれの機器も造影による検査はお受けできません。
詳細は当センターHP「医療関係者のみなさまへ > 医療機関連携」をご覧ください。
(<http://seishin.kanagawa-pho.jp/medical/inspection.html>)

依存症シンポジウム

- 日 時：令和2年3月1日(日) 13:30～
会 場：TKPガーデンシティPREMIUM横浜ランドマークタワー
テーマ：アディクションと女性(仮)
定 員：180名 参加費無料

台風による被害について心よりお見舞い申し上げます

9月に発生した台風15号および10月に発生した台風19号の被害は多大なものになりました。犠牲になった尊い生命に深く哀悼の意を表します。また被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げますと共に、1日も早く平穏な生活に戻れますようお祈り申し上げます。

各種メディアに掲載されました

- ・5月14日(火) 神奈川新聞 朝刊
- 5月16日(木) タウンニュース 港南区・栄区版
4月27日(土)に行われた第3回認知症シンポジウム
について取り上げられました。
- ・7月17日(水) NHK総合クローズアップ現代「社会復帰に新展開！最新のうつ病治療」
rTMS療法が保険診療となったことについて取り上げ
られました。
- ・7月24日(水) 朝日新聞 朝刊
rTMS療法の仕組みや効果・副作用について掲載され
ました。
- ・11月5日(火) NHK-FM お昼前のお知らせ
- 11月14日(木) タウンニュース 港南区・栄区版
11月9日(土)に行われた第4回認知症シンポジウム
について取り上げられました。

今日の一首

暖房が
入りしバスの
ドア締まり
キンモクセイの
匂ひ香残る

詠み人 はまぐら



作 長谷川基人